

# 同時開催 山本 薫 展 2015.5.16(土) — 6.28(日)

毎週木曜日・6.6(土) 休館 10:00 — 17:00 open \*館内入口無料スペースにて展示いたします



「オオツノシカの枕花」

## ■山本 薫 略歴

1977年 長野県上田市(旧丸子町)生まれ  
上田高等学校卒業  
茨城大学教育学部総合教育課程美術文化コース中退  
松本歯科大学衛生学院 歯科技工士科卒業

大学時代に体調を崩し、療養をしながら絵画(イラストレーション)の制作を始める  
2002年 WHO神戸センター 第3回グローバル・イメージ・コンテスト銅賞  
2005年〜 絵の請負 食品関連雑誌の表紙/酪農関連誌の挿絵/年賀状ムック/  
ささらの湯スタンプ/内村産たね油のラベル/上田高校芸文班OB記念誌のカバー絵/  
顔絵やWEBイラスト・額絵やポストカード・グッズ製作  
2014年 アートムーブ2014 入選

蓼科高原ほか県内・東京・海外などで展示会や販売会  
長野県若手芸術家支援事業next登録アーティスト(絵画・グラフィック)  
上田美術協会会員 日本イラストレーター協会(JIA)会員

上田市在住 HP <http://kaorisi.com>



「にがうり月夜」

— 山本 薫 —

襖半紙や広告の裏紙やノートなどの上で、膨らませたり、その源流を掘り込みイメージを組み立てることから—  
見つけた写真や、出会った「モノ」や、そのときの思いつきに、強い必然的な力を感じた時を出発点として、制作がはじまります。  
食べること、生きること、宇宙と星のこと、植物や動物などの生物と、無機物など非生物との境。その奥にある何かをさぐるように

私は長い長い、健康な人間に戻るためのリハビリの渦中にいるようです。  
しかしその中で、迷走を極めたかに見える20世紀絵画の歴史を背負う表現を模索しても来ました。  
命のやわらかさや、ものの造形と質感を、二次元上の一本の線もしくは面にこめることに集中するため写真のトレースで  
“生きた線”を描く試みをはじめました。

出力した写真を部屋に何日か——あるいは何か月か、干しておき、寝食を共にし対話する時間が最も大切でそれをPCに取り込みいわゆる印刷上の「版」にして加工しプリントしたものに手を加えたりそれをまた取り込み調整したり、さらに加筆したりします。作品をデジタルデータにすることでファインアート以外の分野への仕事の道が開けました。  
その功罪はさておき、たくさんの方にじかに線を見てもらおう機会と、それを後世へ残す方法が得られたことはとても嬉しいとも思っています。

育った時代の影響を受けて、漫画の文化圏に片足を突っ込んだ「線」のアイデンティティと、造形芸術の志向  
その隙間から生まれ落ちるもの、あるいはその双方の源流から生み出されるテーマを、蚕が糸を吐くように指先にこまかな神経を注ぐ手作業から  
つむごうと奮闘する毎日。絹産業が日本を底上げし、いま世界遺産になって人々を勇気づけているように私の芸術も将来大きなものにして  
出会う人の力になってゆけたらと思いつきながら制作を続けています。

## EVENT

5月16日(土) 14時より 入館料+500円(1ドリンク付)

ダンシング・ポエット(詩の舞人) うめのいずみ &

ギター 原田正有のコラボレーションを行います

梅野亮の作品からイメージした即興的につくられた詩の朗読と身体的な動きと共に  
原田正有のギターにより非日常空間を堪能してみませんか。(ご予約不要です)

### ■うめのいずみ

幼少期を兵庫県の海で、思春期をエジプト・アレキサンドリアで暮らす  
大学時代、詩誌「のつべらぼう」創刊。伝説の渋谷ジャンジャンで白石かずこ、諏訪優らと  
詩とジャズのコラボに参加。美術雑誌、PR誌の編集を経て、コピーライターとして活躍  
1985年、フリーとなり、アジア各地を旅する  
帰国後、チベット文化紹介のためのイベント企画、執筆、翻訳などを始める  
1997年より、「アート・音・料理・環境」と「声・コトバ」を響かせ合うコラボで「月を聴く夕べ」  
「詩とエスラージ」「花祭りの会」他、自作詩パフォーマンスをミュージシャンらと展開

内面においては、大自然と交感し、意識、コトバ、身体性の統合を探索  
表現においては、微細な美と人生の妙味を共に祝う場を創造  
そのひとつとして「コトバをダンスする〜よみびとの会」「五大元素を体感する」  
など各種ワークショップを開催

詩集に「OIL RABBIT」「恋文」(画: MAKOTO) 翻訳書に「チベット・ヒーリング  
〜古代ボン教・五大元素の教え」、「雪の国からの亡命」(共訳)  
「癒しのメッセージ」(共訳)「宗教を語る」(インタビュー) など

### ■原田 正有

画家・ギタリスト

12歳でギターの練習を始め、奈良市内楽器店にて  
ジャズギタリストの結城大氏に師事し  
以後高校を卒業するまでブルース、ジャズ、ボサノバ等  
幅広いジャンルの知識と技術を習得する  
17歳にてジャズをはじめとしたナンバーで初のソロコンサートを2回行う

ドイツ滞り及び、芸術アカデミー卒業までデュッセルドルフにて  
ジャムセッションに参加する  
アフリカ人ピアニストとのジョイントやドイツ人ギタリストとの  
共演を始め、奈良平城遷都祭や、ドイツにて活動の場を広げている  
現在、佐々木忠氏に師事

## 心の花美術館

art collection museum

HP: 心の花美術館 ▶ 検索 〒386-0012 上田市中央2-7-23

メール: [info@kokohanaartmuseum.com](mailto:info@kokohanaartmuseum.com) tel/fax: 0268-22-0022 (加藤・増田)

\* イベント当日は混雑が予想されますので近隣の有料Pをご利用くださいませ

主催: 心の花美術館

協賛: 「ART浴」実行委員会

後援: 上田市・東御市